

進級進学・卒園卒業の基準・認定について

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">進級基準</p>	<p>◆ 下記の全ての項目に該当する児童生徒は進級できるものとする。</p> <p>① 該当学年で使用している教科書を使って学習が可能な日本語力を有しているもの</p> <p>② 各教科と朝読書・朝の会と帰りの会（HR）の合計の出席率が80%以上のもの</p> <p>○ 計算の基本は授業日数ではなく、授業時間数。運動会とスポーツ大会は各学年の一日の総時数と同じく数える。卒園式と卒業式は3時間とする。</p> <p>○ 事前に届け出があった次の場合の欠席・遅刻・早退は、出席と見なす。</p> <p>→SATの受験 →TOEFLの受験 →ACTの受験</p> <p>→日本での体験入学（終了後、証明書を提出）</p> <p>→日本での入学試験（受験票のコピーを提出）</p> <p>→忌引き</p> <p>→病気・けがによる場合（長期的なもの；診断書を提出）</p> <p>○ 降雪や台風などによる自然災害時に、別途指示があった場合は見なし出席とすることができる。</p> <p>③ すべての教科の宿題合格率が80%以上のもの</p> <p>○ 合格期限については、別紙一覧表のとおりとする。</p> <p>④ 通常の学習成績・意欲・態度が良好である。</p> <p>⑤ 学年末実力テストの成績が良好である。</p> <p>⑥ 学校長が認めたもの</p> <p>※ 2月末授業日終了後に進級を決定する。</p> <p>※ ただし、80%未満でも、学習や学校生活等の状況により、進級審査会に諮り進級が認められる場合もある。</p> <p>※ 3月分の出席や宿題合格で進級が決定できそうな場合は、3月末日をもって判断する。</p> <p>※ 進級しないことは何度でも繰り返すことができる。</p> <p>※ 適宜保護者と連絡をとり、なるべく進級することができるよう、努力を促す。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">進学基準</p>	<p>◆ 小学部から中学部へ、中学部から高等学部への進学を希望するものは、以下の条件を満たしていることとする。</p> <p>① 該当学部の卒業認定基準を満たしていること。</p> <p>② 希望する学部の進学審査を経て、学校長が認めたもの。</p> <p>中学部入学の進学審査は内申書と筆記試験で行う。</p> <p>高等学部入学試験は内申書と筆記試験と面接と小論文で行う。</p> <p style="text-align: center;">*内申書とは①から④の項目、筆記試験とは⑤の項目を指す。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">卒園卒業認定</p>	<p>◆ 卒園・卒業学年にあつては、卒園・卒業認定基準に照らし合わせ、卒園・卒業が認定される。</p> <p>◆ 各学部の卒園・卒業認定基準を以下のとおり定める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園部卒園認定基準 . . . 出席率が80%を満たしている者のうち、園長が認めた者。 ・小学部卒業認定基準 小学部進級基準に準ずる。 ・中学部卒業認定基準 中学部進級基準に準ずる。 ・高等学部卒業認定基準 高等学部進級基準に準ずる。